

第2回こだいら名木百選選定委員会 会議要録

1 日 時

平成25年7月31日（水）午前9時55分～12時00分まで

2 場 所

中央公民館2階 学習室1

3 出席者

委員長 椎名 豊勝

副委員長 山田 眞久

委 員 佐藤 留美、麻生 真樹、棚井 俊雄

4 傍聴者

なし

5 議事等

- (1) こだいら名木百選の選定について
- (2) 実地調査について
- (3) その他

6 会議の概要

議事録

委員長

事務局より説明をお願いします。

事務局

画像を見て皆さんに議論をしていただきながら、名木として指定してよいと思うもの
と要検討として実地調査が必要なものを選別する作業をしたい。

No.1 ケヤキ 所在地：回田町13-1 回田けやき公園。所有者は公園なので市になる。

委員長

形状はわからないか。高さや幹回り。

副委員長

高さはわかるか。株立ちであるか。

事務局

株立ちである。

委員長

そういう要素がわからないと。写真だけで候補にあげるか。形状は測っていないか。

事務局

事務局だけの現地調査は行っていない。

委員長

応募理由や写真の判定で。

委員

この場で全部判定して決めるということになるのか。または、候補をあげて調べた上で判断となるのか。

事務局

実地調査を行ったうえで判断の材料にするという扱いでもよい。

委員長

応募理由の文章と写真、所在地などを検討して候補をあげる。このやり方であれば、さらに調べる必要のあるものが残り、名木としては適当ではないものなどが出てくる。

委員

個人宅の個人所有地のものは見るまでもない。1年以内に相続がおこったとかで伐採される可能性がある。一方で、地域に根ざした木であるという木もいくつかあるが、こういうものをあえてはずすには理由が必要である。まず、はずすものを先にして残りは全部実地検証すれば、10～15本位なくなるのでは。

委員長

これは市民の方が文章を書いて応募してくださったのだから、1本ずつ文章を読んであげたい。名木が大事か市民の心が大事かという観点が必要かと。どうであるか。

事務局

説明が不足していた。当然個人宅の木が名木の候補に挙げたら、事務局の方で、内容や目的を説明し、同意を頂いた上で末永く保存して頂くようご理解をいただき、進めていくように考えている。

委員長

動くものか動かないものか考えるか。将来的に管理が約束されているものだけにするのか。

事務局

基本的な考え方としては動くものと考えている。市制50周年にある名木を選定していきたい。公共用地の中でも病気にかかり枯れてしまうものも必ず出てくる。5カ年か60周年なのかわからないが仮にスタートラインが20本、30本であった

としても、5本減って、10本増やすという努力の繰り返しである。名木百選とはゴロであり、将来名木と言われる美しい木が百本もあるようなまちづくりをしていこうではないかという考え方に基づいている。市民の方が緑に目を向けて下さっているという方々の想いは重く受け止めたい。名木として不適当なものはご意見を頂戴して、判断していただければと思う。

委員長

それでは1本ずつ審査する。この回田公園の木はどうか。現地調査をして、客観的な数字も必要である。

事務局

要件等の所に丸印を記入。

委員長

疑問が残るものは多数決になるかもしれないが、ある程度ここで名木としての候補を決めてはどうか。

委員

写真では立派であるが現地を見ないとわからない。

事務局

No.1は現地調査、要検討とする。

委員長

No.2はどうでしょう。

事務局

No.2 サクラ 花小金井6-35 狭山・境緑道

大きな木なので、木の下でラジオ体操をしているため、「ラジオ体操のできる木」として近所では有名であるとの応募理由である。

委員

昭和50年代に狭山・境緑道には桜は植えてはいけないというのがあった。実際には、立派な桜の木が多い。小平市として名木百選に指定してもよいか、所有者の東京都水道局に確認をする必要がある。

事務局

候補として挙げられた木は事務局で確認をする。

委員

管理は建設局で地主は水道局である。

委員長

植えたのは建設局だと思う。狭山・境緑道の中でなぜこの桜が選ばれたかが問題になると思うが、ラジオ体操のできる木なら問題ないであろう。要調査とする。

事務局

No.2は現地調査、要検討とする。

No.3 ネムノキ 鈴木町1-450 鈴木小学校

2本応募をいただいている。鈴木小学校は独特の地形で外から見えない。現地確認をしたが、唯一木が見えるのは、新小金井街道沿いの正門からである。副校長先生と話した所、学校では、様々な活動をする中で、市民の方から目に触れるような状況を整えていきたいという考え方がもともとあるとのことであった。

委員長

地域の木になっていないという意味か。それとも、より地域の木にしようとするということか。

事務局

より地域の木にしようとするということである。

委員長

校庭開放はやっているか。

事務局

学校の公開などはあるが、校庭解放はやっていないであろう。副校長先生との話では、事前に連絡があれば、校庭内に入って木を見ていただくことは可能であるとのことであったが、実際そうはいかないと考える。

委員長

枝幅を調べてほしい。良い点は、剪定が行われていない点である。ネムノキとしては一番良い。本来なら、学校主催で花をみる会等を行えばよい。今頃赤い花がたくさん咲いているはずである。枝幅をきちんと測り、今後も剪定をしないようにするのが良い。

事務局

学校の外から見えるかという部分も含めて現地調査ありという形でよろしいか。

委員長

枝ぶりが20mはあると思うから測ってみたい。剪定していないというのが素晴らしい。

事務局

No.3は現地調査、要検討とする。

No.4 キンモクセイ 鈴木小学校。6本を一体として応募している。ジャングルジムのへこんでいる部分は子供たちがジャングルジムに登って木に触れ合えるようにしている。

委員長

高さは何メートルあるか。

事務局

ジャングルジムの高さは2 m半～3 m位であるから、キンモクセイは5～6 mであると思う。

委員長

No. 3と一緒に調査をする。

事務局

No. 4は現地調査、要検討とする。

No. 5 プラタナス 津田町3-16 都営津田町アパート内公園。

委員長

だいぶ剪定している。

委員

本来のプラタナスとは樹形が違う。

委員

周りの木と変わりが無いが。

委員

近所なので実際に行ってみた。専門的にどうかはわからないが、写真より実際の印象は良かった。

委員長

では、調査に行き判断する。

事務局

No. 5は現地調査、要検討とする。

No. 6 チシャノキ 鈴木町1-427 個人宅。

外から見えるのは写真の赤丸印の所しかない。なおかつ見え方がこの写真の様である。

委員長

めずらしい木なので調査に行く必要がある。

副委員長

どのような形での応募か。

事務局

所有者の了解を得て、別の方が応募をしてきた。

事務局

No. 6は現地調査、要検討とする。

No. 7 ハクモクレン 小川町2-1338 個人宅

委員長

何か言われがあるか。市役所の方がよく見ているとか。

事務局

市の職員でこの木を知らない人間はいない。花が咲くと季節を感じる。特異性はわからないが、ランドマークのような存在になっている。

委員長

バランスのとれた良い木である。この木が名木百選になるならうちの木もという方がいたら、次回応募して下さいと言えば良い。ただ、高さとか幹回りは測っておかないといけない。次回の時に成長の度合いがわかるので、元気であるかどうかわかる。高さは人間の身長と同じようにとまるが、幹回りは増えていく。

事務局

No. 7 現地調査、要検討とする。

No. 8 タイサンボク 美園町3-4小平霊園 所有者は公益財団法人東京都公園協会

委員長

所有者は東京都で、明記してあるのは管理者である。何か問い合わせをするなら管理者が良い。No. 2のサクラも所有者である水道局はわからないから、管理者の東京都建設局と記載した方が良い。タイサンボクはどうか。大きいものは他にもある。

委員

樹形は見事である。

委員長

落とす理由がない。周りに何も無いから立派な木である。候補にあげて調査をする。

事務局

No. 8は現地調査、要検討とする。

No. 9 紫モクレン 喜平町3-2-1 4号棟東 所有者は東京都住宅供給公社

委員

枝ぶりが広がってないか。紫モクレンは上に行くようなイメージであるが。

委員長

紫モクレンではないかもしれない。欧米で改良された形態かもしれない。結構入ってきている。

委員

花が咲いている時は素晴らしい。実際に見に行ったが、幹にプレートがついていて、カタカナでシモクレンと書いてある。先ほどのモクレンと色が違うだけであり、それぞれ立派だと感じる。

委員

現地に行って調べてみてはどうか。

委員長

花の季節ではないから、最後は花を見ないとわからないが、現地で調査を行う。

事務局

No.9は現地調査、要検討とする。

No.10 花の木 中央公民館の南側にある街路樹である。

委員長

薬用植物園に立派で大きいのがある。

事務局

電線の下にあるのでいつも剪定されてしまう。

委員長

地中化した所で木が伸び伸び育っているなら、電線地中化の一つになるが。皆さんいかがですか。

委員

名木と言うまでには、という感じである。

委員長

調査は行かなくてよろしいかと。

事務局

No.10 は名木としては否とする。

No.11 スギ 小平市立第一小学校 学校のシンボルキャラクター「すぎ P」のモデルになっている。

委員長

下枝がだいぶ剪定してあるのがもったいない。

委員

写真では良いが、実際見てみたら印象は違った。

委員長

応募理由に記載があるように、昭和の初めころからあったとすればかなり大きかったということであるか。

委員

一つの木は校庭の真ん中にあるので、校庭で野球などを行うために、下の方は剪定したのであろう。

委員長

そういう点では、利用等をうまく調整して残してきている木としては大切にしているということである。調査したほうがよいのでは。ヒマラヤスギは他にあるか。

副委員

12小学校にある。

委員長

第一小学校にあるのだから一番古い木であらう。調べればわかる。小平にヒマラヤ

スギが入ってきた最初のころかもしれない。地域に愛されている木であるから、調査する。

事務局

No.11 現地調査、要検討とする。

No.12 タイサンボク 小平第十三小学校

委員長

校章、校歌にもなっている。

事務局

維持管理の手法については助言をした方がよい。思い切った剪定をしてしまうこともあるから。

委員長

第一小学校のヒマラヤスギのようにぎりぎりの所できちんとやっている姿が名木百選の姿としては望ましい。小学校などは看板をだしておけば読むからそういうのもよい。民地とのぎりぎりの所の木は選定しないで、影響を受けない所にもあると思うから、現地調査をする。

事務局

No.12 は現地調査、要検討とする。

No.13 ウスギモクセイ 職業能力開発総合大学校

委員長

昔はみなキンモクセイとしたが。

副委員長

学校の方でプレートをウスギモクセイに変えることはあるのか。

委員

場所は奥か。

委員

実際に見に行ったが、外から見られる場所にあり、悪くはないが。

委員

ウスギモクセイなら他にもある。

委員長

記念植樹が特徴か。この木はどうしますか。

副委員長

応募は学校側か。

事務局

市民である。

事務局

落選のものも何かフォローは必要である。例えば、将来の名木候補とか。何か期待したいなという形で残してあげたい。

委員

記念植樹というのは学校が特別に植えたのだから学校側は当然大切にする。しかし、記念植樹はたくさんある。

委員長

記念植樹で38年間大切に育ててきたというのはある。38年の重みはあるが。

委員

50年100年の木は他にもある。

委員長

名木百選に指定されなかったものをどう表現するか。その木に市民が関心を持っている、関心の度合いをもっと広げるためにはどうしたらよいかという考え方もある。名木百選は権威づけもあるが、ある意味、市内の木の広報活動という意味もある。「樹木を大切にしていればより良い環境を作りましょう」という意味もある。

委員

写真では、記念植樹のプレートに労働省政務次官の名前が載っている。

委員長

調べたほうがよい。

委員

この木が立派な木であれば良いが。

委員長

100年位の木であれば関係ないのだが。どうするか。

事務局

調査は必要ないと考える。候補は他にもある。

委員長

調査必要なしとする。

事務局

No.13 は名木としては否とする。

No.14 クロマツ 市立森林公園

委員長

根元が舗装されているのか。背が高い。

事務局

舗装といってもインターロッキングのようである。

委員長

非常にめずらしい。高さをどうやって測るかという問題もあるが、調べた方がよい。

副委員長

クロマツはめずらしい。

事務局

調査検討とするか。

委員長

調査に行かなくても決定でよいのでは。

事務局

データをそろえれば決定ということか。

委員長

事務局で高さ等を測れば名木として決定でよい。

事務局

No.14 は名木として決定する。

No.15 ケヤキ 喜平町3-3 団地の中の公園

委員

まんまるで樹形がかわいい。

委員

頻度高く見ている。子供たちの遊ぶ場所にある思い出に残る良い木である。

委員長

このような木は横に伸びていくものが多いが。

副委員長

日立の「この木何の木」に似ている。

委員長

大きさは幹回りと枝幅を東西南北で測った方がよい。調査に行くか。名木があり、場所、樹種、中長期的管理があつて樹勢を書くのか。

事務局

あくまでも選定のための項目である。

委員長

書くべきことは、高さ、幹回り、必要であれば枝幅などその位は記載してほしい。あとは腐朽があるかどうかとも書いておいたほうが良い。

事務局

マップにすることを想定してデータを揃えておくということか。

委員長

管理するわけではないが、枯れてしまった時に腐朽があつたけど皆さんの熱意で選

定したと。それがかまわないと思う。その時まで市民が親しんだということで立派であると思う。調査に行くということでよい。

事務局

No.15 は現地調査、要検討とする。

No.16 桐の樹 国立精神神経センター内にある。

委員長

めずらしい。

委員

あまりない。

委員長

材で使うことが多かったが、売る必要がなかったのであろう。桐の場合は幹の損傷なども考えられるから見た方がよい。

委員

そうである。

委員長

見に行くこととする。

事務局

No.16 は現地調査、要検討とする。

No.17 タラヨウについて調べたところ、都計道3・3・3号用地にあたり、道路の計画にかかっているため名木百選には選定しない。

事務局

武蔵野美術大学の小川町の区画整理の所の東西道路が15小の北側を抜けて市役所の南側までくる。広場になっている所が道路用地である。

委員長

それでは仕方がない。

事務局

No.17 は名木として否である。

No.18 ユリノキ 天神しらかし公園

事務局

細長い公園ですが、大きな木である。

委員長

隣地の境界線からはどのぐらい離れているか。

事務局

境界線上とか一応園内には入っている。写真の左手の塀が見えるが、事業所になっているので今のところ所影響がない。

委員長

買収した時からあったのか。

事務局

植樹したとは聞いていない。

委員長

管理上困るから植樹はしていないであろう。

事務局

西から東へ向いた写真である。右手が南側、左手が北側。右手は一戸建てが並んでいる。近隣に住んでいる方からは昔、本当に見事なユリノキなのでぜひ残してほしいというご意見を頂いたことがある。

委員長

ユリノキは東京では迎賓館が有名である。ユリノキの中には根腐朽が心配である。幹腐朽もあるが。調査をしてから決める。

事務局

No.18 は現地調査、要検討とする。

No.19 キングサリ さくら公園内

委員長

キューガーデン（ロンドン郊外）みたいに黄色いトンネルを作れば凄い。

委員

実際に見たが、名木としてはどうかという感じであった。

委員長

日本ではそうである。足利フラワーバザーなどで同じフジ科だからできるが、できれば、キューガーデンに負けない位の小平キングサリのトンネルを作って頂ければよいが、少し無理がある。

委員

少し珍しいだけである。

委員長

キングサリとしてはよく咲いている方である。ボランティアの方がよくやっているのであろう。キューガーデンのものは、金の鎖のように垂れてきて凄い。

副委員長

下は芝か。

事務局

さくら公園は芝や築山などがある。

副委員長

隣はバラであるか。

委員

今回クヌギとコナラがでていないのが寂しい。

委員長

市民からの応募であり、その点で客観的事実の部分が欠落するから、その部分をどうするかという問題が残る。

副委員長

例えば、竹内家のオオケヤキは出ていないか。

委員長

この方式だと出てこない。客観的事実はでてこない。委員会として、誰がみても名木であるというものをどうするかという問題が残る。

委員

抜けてしまう。

事務局

市民からの応募だけでなく委員会として指定していただくことも可能である。

委員長

市民から選ばれなかったのは、市が文化財に指定しているのだからみんな知っているだろうということで応募がないのではないか。ケヤキの大きいのは、小平の人は慣れてしまっている。

委員

五日市街沿いのケヤキも素晴らし。

委員長

市役所で当然わかっているということで応募がなかったのか。

No.19 キングサリはどうか。将来に期待ということでよろしいでしょうか。

事務局

No.19 は名木としては否とする。

No.20 サイカチノキ 小川町2-1828 個人宅

委員

手前の所は何か。

事務局

駐輪場である。この木は、保存樹木としての登録もある。

委員

この木も見たい。

委員長

大きい木なら当然検討してよい。

事務局

No.20 は現地調査、要検討とする。

No.21 ホオノキ 神明宮内にあり、赤で印をつけたが、わかりづらいかもしれない。
この木は市民の方からの応募である。神明宮からも別の木の応募が最近あった。

委員長

どうであるか。

副委員長

実際に見てみてはどうか。神社の推薦の他の木も一緒に見る。

委員長

私も推薦したい木がある。シダレツバキがあるが、目立たない。相当古い木であるのと、シダレツバキとしては大きい。神社の見える所に出せば素晴らしい。私が推薦してよいのであれば。

事務局

委員会推薦であれば可能である。

委員長

では、皆さんも推薦したい木があればご意見をどうぞ。

事務局

No.21 は現地調査、要検討とする。

No.22 ヒトツバタゴ 小川西町4-18 小川駅西口

委員長

薬用植物園に大きくて素晴らしく良く咲く木がある。

委員

もう少し枝ぶりがよければ。

委員長

街路樹だから抑制せざるを得ない。

副委員長

剪定が悪い。

委員長

道路管理行政と名木行政がぶつかる可能性があって、名木に指定すると道路管理が困るかもしれない。何年かに一度剪定をしないといけないので、難しい。

事務局

No.22 は名木としては否とする。

No.23 ケヤキ2本 市役所東側 応募の方から2本一対でということである。

委員長

2本植えた意味はあるか。

事務局

担当課に問い合わせたが調べないとわからないということである。株立ちと一本立ちである。

委員長

何か意味はあるのであろう。今からでも遅くないから、夫婦ケヤキなど名前をつけて、シンボルとして大事に育てると、皆さん納得である。

委員

職員の皆さんも良い木だと思っているのか。

事務局

担当課はぜひ名木にしてほしいと言っている。

委員長

大きい木であるから形状を測っておいてくれればよい。

事務局

No.23 は可ということで、事務局で調査を実施する。

No.24 クスノキ 平櫛田中彫刻美術館

副委員長

彫刻の材料として持ってきている。

委員

九州から持ってきているので主旨と違う。

副委員長

木という材も入れるのなら、鳥居も入ってきてしまう。

委員

彫刻の材料ということで概念が違う。

委員長

樹木のように立っているが、番外編となるか。

事務局

この後老梅も応募されている。以前職員の講習をして頂いた時に、委員長より高い評価をいただいた木が3本位あったと思う。松下幸之助さんから頂いた松、老梅などがある。できれば平櫛田中館の中を見ていただきたい。

事務局

No.25 老梅 平櫛田中彫刻美術館

委員長

臥龍梅にするには支柱をやめてしまう。地面に接地するとそこから根が出て臥龍梅になる。本当に臥龍梅にするならそれはそれでよい。

事務局

No.24、No.25 は現地調査、要検討とする。

No.26 イチョウ 花小金井 円成院

剪定をしたので樹形が違ってしまっているが地域のシンボルであるので応募したと
のことである。

委員長

剪定前の方が良い。どのようなお寺か。

事務局

都の合同庁舎の近くのお寺であり、なくなるということはないのでは。

委員

確認してみたい。

事務局

次のNo.27 のマツも円成院内にある木である。No.26、27 とも現地調査、要検討とする。

No.28 サクラ 花小金井幼稚園内

委員長

小平市立幼稚園であるか。

事務局

民間、私立である。合同庁舎の前にある。

委員

サクラのための広場みたいになっていて凄いい。隣にも大きな木がある。

委員長

隣はメタセコイヤであろう。サクラはよく管理してある。ソメイヨシノだと思う。
ここなら大丈夫である。

事務局

ちなみにメタセコイヤはまだ伸びるか。

副委員長

30mくらいになるものもある。

委員

剪定しないほうがよい。

委員

かなり広い敷地の中に立っているが外から見えるか。

事務局

入口から少し離れているが見える。

事務局

No.28 は現地調査、要検討とする。

No.29 カツラ 中島町2付近 所有者は、行政区域境のため調査中である。

副委員長

1本だけの応募か。

事務局

応募理由も並木としてである。

委員長

この「思惟の道」というのは小平市のネーミングであるか。

事務局

小平市は基本松の木通りと言っている。水道管を埋めた時にインターロッキングにした。行政境のため協定を結んで、東大和市であっても小平市が管理し、小平市であっても東大和市が管理するというやり方をしている。

事務局

野火止用水の真中が市境である。どの木ということではない。

委員長

並木の概念とは違う。表参道の並木とは。

委員

25周年の時、並木のテレホンカードを作ったのがあった。

事務局

小平周景25であるか。

委員長

25景の中に樹木がどうあったか調べる必要がある。行政の継続みたいな問題で。過去に認めたもので現在存在しているもので名木選定委員会の提案として検討する必要がある。いろんなカテゴリーの一つである。竹内家の大ケヤキなども入っていると思う。

副委員長

木としては良い。

委員長

例えば、十三小のタイサンボクは校歌に歌われている。こういうのは良いが、こちらには、設計の中にたまたま入った。誰の意思で入ったのか物語があればよい。東京には少ないし、選定する理由が凄く大きければかまわない。緑を育てるみんなの気持ちで作ったというのならそれがかまわない。現地を見て、1本にするか並木にするか決めてもよいから現地をみよう。

事務局

No.29 は現地調査、要検討とする。

No.30 ヒトツバタゴ 鈴木町351-3付近 個人宅

調査に伺ってお話したら、他にも推薦したい木が1本あるとのことでした。

委員長

かなり良い。めずらしい。

委員

別の1本も含めて見に行く。

事務局

No.30 現地調査、要検討とする。

No.31 ハクモクレン 小川町1-784 個人宅

委員

個人宅の庭であるか。

事務局

地図上はそうである。

委員

見に行ったが、花が咲いていないので、どれがその木か判別できなかった。庭にあるようだが。

委員長

名木に指定した時に、オープンガーデンみたいに、花の時期だけとか見せるなどの制度があっても良いのでは。無理ならしかたがないが、外から見えない木は、そういう制度を作ってお願ひすることはできる。

委員

ライトアップしているというのは所有者の方は見せる気持ちがある。

委員長

花は見たいから、外側から見えるかどうかその辺も調べる。

事務局

No.31 現地調査、要検討とする。

No.32 カシノキ 大沼町6-18-11 個人宅

右側の写真は事務局で外から撮影した写真であり、屋敷林である。

委員

おもしろい木である。

委員長

この木は2つに分かれているのか。

事務局

そうである。

委員長

写真は剪定した後だと思うから、今は違っていると思う。

事務局

No.32 は現地調査、要検討とする。

No.33 モミの木 大沼町5-9-8 泉蔵院所有

委員長

モミの木は、昔はあったが最近は少なくなった。

委員

昔からあったのか。

委員長

昔からあったと思う。

事務局

No.32 と歩いて行ける距離なので見ることは可能である。

No.33 は現地確認。要検討とする。

No.34 サクラ 花小金井1-3 円成院所有 複数本での応募である。

事務局

もと東部市民センターのあった所で現在の場所と交換をし、今は空き地になっている所に咲いている。今後開発はされていくと考える。花小金井西友の裏である。

委員長

開発計画があるのでは。

事務局

開発計画がある可能性もある。

委員長

開発計画がある時に名木というのは何とかの種と言われるようになってしまう。他に地域との歴史などがあればと考えるが。

委員

名木としてはどうかと。

委員長

空き地というのは気になる。避けた方がよいと思う。

委員

そう思う。

事務局

No.34 は理由と場所が空き地ということで否とする。

No.35 ウコン 小川町2-1211 個人宅

この後サクラが続いたり、マロニエなどがでてくるが、もしどれか調査に行くならこれも地理的に近い。

委員

めずしいことはめずらしい。

委員長

結構植わっている。特に大きいとか特に云われがあるとか。

委員

特がついていない無理か。見てみたらどうか。

委員長

見てみますか。

事務局

No.35 現地調査。要検討とする。

No.36 サクラ 小川町2-2037 個人宅

委員長

タカトオコヒガンザクラである。中々立派である。

事務局

青梅街道沿いである。

委員長

高遠ではタカトオと名前を付けただけである。そんなに大きくはないが見に行くということ。

事務局

No.36 現地調査、要検討とする。

No.37 マロニエ 小川町2-2012 個人宅

委員長

ベニバナトチノキでマロニエとはちょっと違う。マロニエは西洋トチノキである。これはアメリカトチノキと西洋トチノキを交配させて作ったものである。咲けばたいしたものである。並木であるか。

委員

見に行ったが1本である。

委員長

パリのシャンゼリゼ通りは西洋トチノキであるから認識が違う。

委員

ベニバナトチノキは街路樹に使っている。一緒に見るか。

委員長

見て回ることにする。

事務局

No.37 現地確認、要検討とする。

No.38 イチョウ 市立小川いちょう公園 防衛省所有

委員長

かなり大きい。公園造成する時にあった木を残したのか。

事務局

防衛省の官舎がある所の公園を市が借りている。

委員長

官舎を造った時に余った敷地に何も造らず空地にしたのであろう。住宅を造ったら公園を作らなくてはならないというので貸してくれたということか。やっぱり調査して樹形を調べたほうがよい。

事務局

No.38 は現地調査、要検討とする。

これで全件終了した。ほとんどが現地調査をしてということであるため、整理をし、ルートを組んで次回現地調査を行いたいので、この場で日程を組みたい。

8月16日の午後とさせていただきます。方法は今ここで議論した内容で進めていく。

委員

新規という話しがでていたが、この中なら⑧に該当する木や、若干歴史的に意義がある木を私も推薦したいのだがそれはどうするか。

事務局

流れとしては同じで、こちらにデータと理由を頂いて同じようなこの形のものを見ていただき判断する。今日のように30数件とはならない。

事務局

もし、現地調査に行く前に出して頂ければ一緒に見に行く。

委員長

色んなカテゴリーを出さざるを得ない。100本200本でてくればいいが、現状では欠落している可能性がある。出して頂き、それが歴史的に重要なカテゴリーなのか小平にとって重要なカテゴリーなのか。雑木林のことなど色々あると思う。

今、市民が選んだというのが一番大事なカテゴリーである。その時にこれは絶対にはずしてはいけない物があると考えたら、そういうカテゴリーを入れていかないといけないかどうか判断しないとしない。例えば、文化財をどうするかという現実的

な問題がある。発表した時に、何で竹内家の大ケヤキが何で入ってないのかとなった時、市民から選ばれなかったからとなると、市民は当たり前だから応募してこないということになる。そこは議論しないといけない。いっぱい集まっていればかまわないが、議論していれば委員会ではこういう主旨でやったとなる。それでもいいかもしれないが、議論しないといけないと思う。

挙げるものは、どんどん挙げていいと思う。見た目で立派な木、歴史的な木。地域で愛されている木などカテゴリーはたくさんあると思うがいっぱい挙げた方がよいと思う。その他になにかあるか。

事務局

今回は8月16日、時間場所については別途連絡する。

以上